



風の子

ホームページ

尾久幼稚園マスコットキャラクター <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/ogu/index.html>
おぐっぼー



芸術に触れて

主任教諭 小川 麻友美

今年は、温かい日が続いたと思ったら、急に気温が低くなり、秋から冬があっという間に過ぎた感じもしますが、その中でも、子供たちは、舎人公園の遠足でどんぐりや落ち葉を拾い、持ち帰った木の実でリース作りを楽しんでいました。11月は、オータムコンサートや赤土小学校でのモビールアート作り、展覧会見学と「芸術の秋」を満喫した1か月でした。

赤土小学校の展覧会では、自分たちが作った作品が飾られていることに喜ぶ様子や赤土小学校の子供たちが作った作品をじっくりと鑑賞する姿がありました。気に入った絵や作品があると自然に動きが止まり、じっと見つめている子供たちもいました。見つめ終わると「これ、何で出来ているの



う?」「キラキラ光っていてきれいだね」「これは優しい感じがする絵だね」と、それぞれに感じたことを言葉にする姿がありました。一つひとつの作品から感じることを素直に受け止められる子供たちの感受性に感動すると共に、大切にしたいと感じました。

冬休みに入り、出かける機会も増えると思います。近年は、街中にも色々なアートが見られるようになりました。お子さんが感じたことに耳を傾け、楽しんでいただけたらと思います。2学期も本園の教育活動へのご理解とご協力をありがとうございました。皆様が健やかに新年を迎えられることを願っております。

12月のねらい

《4歳 うさぎ組》

- ・友達とルールのある遊びをしながら、身体を動かして遊ぶことや言葉を交わして遊ぶ楽しさを味わう。
- ・学級の友達や年長児と一緒に取り組む中で、伸び伸びと表現する楽しさや友達と気持ちを合わせて一緒に表現する楽しさを感じる。
- ・季節に応じた生活の仕方を知り、冬の自然や行事に関心をもつ。

《5歳 そら組》

- ・友達と一緒にルールをつくったり遊び方を考えたりしながら、体を動かす楽しさを味わう。
- ・友達と共通の目的に向かい、思いや考えを伝え合いながら遊びや生活を進める楽しさを感じる。
- ・冬の伝統行事や遊びに興味や関心をもち、進んで参加したり取り組んだりする。

やわらかな陽ざしの中で遊ぶ 風の子たち！

<年中・うさぎ組>

10月と11月はオータムコンサートがありました。体を全身使ってボディパーカッションを楽しんだり、様々な楽器を見たり触れさせてもらったりし、音色の違いを感じながら楽しんだりしました。クラスでも楽器を出すと、「これやったことあるよ！」と教えてくれたり、好きな音楽に合わせて思い思いに鳴らして表現したりと、遊びの中でも楽しんでいきます。色々な音色を奏でたり、友達と音が合う楽しさや心地よさを感じたりできるように、楽しみながら取り組んでいきたいと思っています。



<年長・そら組>

体を動かして遊ぶことが大好きなそら組の子供たちは、「ねえ、中当てしよう！」と友達を誘い、「園庭行ってくるね！」と戸外で思い切り遊ぶ楽しさや心地良さを感じています。

11月は、良い気候の中、舎人公園へ遠足に行きました。たくさん拾ったドングリを、幼稚園でじっくり見てみると「これは小さいドングリ！」「色が違うね」と、色や形の違いに気付いていました。また、ドングリがたくさん載っている絵本を見付け、絵本と見比べたり写真と重ねてみたりしながら、「これは、どのドングリだろう...」と考える姿もありました。

12月は友達と同じ目的をもちながら、一緒に考えたり、作ったりしていく楽しさを感じられるように援助していきます。



感染性胃腸炎やインフルエンザなどの感染症が広まる時期です。

- ・ うがい、手洗いの励行
- ・ バランスのとれた食事
- ・ 人混みを避ける
- ・ 十分な休養をとる



規則正しい生活を心がけ、疲労や睡眠不足に注意しましょう。